

日 時	令和3年11月11日(木) 9:15~10:45 第13回経営会議
出席者	平原副市長、小林副市長、城副市長、林副市長、技監、政策局長、総務局長、財政局長、政策局政策調整担当理事、温暖化対策統括本部長、市民局長、鶴見区長
欠席者	なし
議 題	2 「持続可能な自転車駐車場に向けた本市の取組」の策定について【道路局】
議 事 要 旨	<p><b>【論点】</b></p> <p>「持続可能な自転車駐車場に向けた本市の取組」を策定し、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市営自転車駐車場に指定管理者制度を導入し、多様化する利用者ニーズに対応し、サービスの向上を図る。</li> <li>・昭和60年に定めた市営自転車駐車場の「整理手数料」を「利用料金」へと見直し、適正な受益者負担・立地や施設特性に応じた料金体系とする。</li> <li>・公民連携手法等の導入により、自転車駐車場の更新・整備を進める。</li> <li>・放置自転車の移動料についても見直す。</li> </ul> <p><b>【説明要旨】</b></p> <p>○背景</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年3月に策定した「横浜市自転車活用推進計画」では、持続可能な市営駐輪事業のしくみ構築について検討することとしていた。</li> <li>・令和3年3月に本市附属機関である「市自転車等施策検討協議会」から「持続可能な自転車駐車場のあり方について」の答申を受領したことを受け、「持続可能な自転車駐車場に向けた本市の取組」(以下「本市の取組」)を策定する。</li> </ul> <p>○自転車駐車場の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①市営自転車駐車場利用者のニーズの多様化に追い付いていない</li> <li>②施設の老朽化が進んでいる</li> <li>③一部地域では未だに収容台数が不足している</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これらの課題への対応策を、「本市の取組」に定め施策を推進する。</li> </ul> <p>○「本市の取組」における主な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市営自転車駐車場の管理運営に指定管理者制度を導入し、多様化する利用者ニーズに対応し、サービスの向上や管理運営の効率化を図る。</li> <li>・立地や施設の特性に応じた適正な料金体系を新たに導入し、利用の平準化につなげる。</li> <li>・既存市営駐輪場の老朽化と新たに駐輪需要が増加している地域へ対応として、公民連携手法の導入による自転車駐車場の整備を推進する。</li> <li>・周辺自治体等の例を参考に放置自転車の移動料の見直しを行う。</li> </ul>

**【主な意見等】**

- ・ 指定管理者制度導入にあたっては、今後、サウンディング等を実施し、本市として指定管理者に求める自転車駐車場のサービス水準や収支計画など妥当性をしっかり検討、整理しておくこと。
- ・ 公民連携手法を導入することでキャッシュレス決済システムなどのスマートで便利なインフラが進んでいくと良い。
- ・ 放置自転車の料金設定については、近隣他都市の料金体系を参考にするほか受益者負担の考え方を考慮したうえで検討すること。

**【結論】**

主な意見を踏まえつつ、局案の方向性について了承。